

## 令和元年度被災者生活支援研修会開催要領

### 1 目的

震災から8年が経過し、石巻圏域においては災害公営住宅も完成して応急仮設住宅からの移行も完了しつつあり、被災者に対する健康支援も新たな段階を迎えている。

被災者の生活環境は整いつつある一方で、新たな生活環境・コミュニティの中で不適応を起し、心身の機能低下、うつ、引きこもり等の健康課題が危惧されている。

このような状況下で、被災者の「心のケア」については、震災から時間が経過した現在においても引き続き支援が必要な大きな健康課題である。

今後の支援の在り方を考えるにあたっては、「被災地で支援活動に関わってきた人」から、活動を通じて得られた「被災者の現在の課題」や「対応の成功事例・失敗事例」を拾い上げ、それをどのように今後の支援に繋げていくかについて関係者間で情報共有・課題検討を行うことが重要である。

そのため、今回、被災直後から被災地に入り、傾聴移動喫茶「カフェ・デ・モンク」を運営しながら、数多くの被災者の声に耳を傾け、心に寄り添う活動を行ってきた僧侶を講師に迎え、これまでの活動から蓄積された被災者の声や被災者の課題、そしてそれにどのように向き合ってきたのかを聴講し、行政関係者・関係機関等の支援者の今後の「心のケア」を中心とした健康支援の在り方を考える場とするもの。

2 実施主体 宮城県東部保健福祉事務所

3 日 時 令和2年2月20日(木) 午後1時30分から午後3時まで

4 会 場 宮城県石巻合同庁舎1階 大会議室(石巻市あゆみ野5丁目7番地)

5 内 容 講演

「傾聴移動喫茶 カフェ・デ・モンクの活動」

(活動の概要や工夫、傾聴とは、今後の支援の在り方など)

傾聴移動喫茶カフェ・デ・モンクマスター

曹洞宗 通大寺(栗原市) 住職 金田 諦應(たいおう)氏

一般社団法人日本臨床宗教師会副会長

日本スピリチュアルケア学会会員

展示

カフェ・デ・モンク活動関連の写真パネル、看板及びメッセージボード等

6 対 象 石巻圏域の市町担当課、地域包括支援センター、社会福祉協議会、民生委員(児童委員)、行政区長、自治会長、相談支援機関 等

7 参加定員 60名程度

8 申 込 み 参加を希望される方は、別紙申込書により、令和2年2月12日(水)までに当所高齢者支援班宛てファクシミリ又は電子メールでお申し込みください。

宮城県東部保健福祉事務所高齢者支援班

電話 0225-95-1419 FAX 0225-96-3560

メールアドレス et-hctth@pref.miyagi.lg.jp

9 そ の 他 会場への交通手段は、できる限り一般交通機関の利用にご協力いただき、車での来場の場合は、合同庁舎内の一般駐車場をご利用ください。